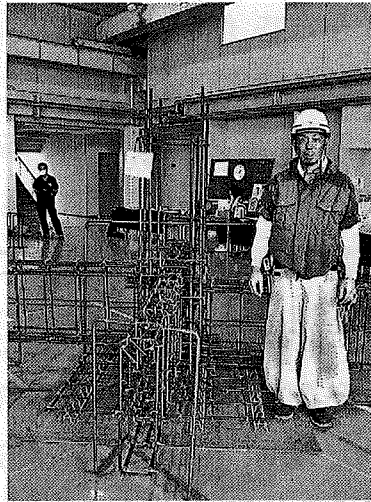


小林隆選手(エソノ)が4連覇達成

神奈川県鉄筋業協同組合(阿部政彦理事長)は、神奈川県立産業技術短期大学校茅ヶ崎キャンパス(神奈川県茅ヶ崎市)で2日に第4回「鉄筋技能大会」

4連覇を達成した小林選手



を開いた。鉄筋組み立ての課題をスピードと精度で競い、ソノ工業(神奈川県海老名市、海老原淳社長)の小林隆選手が4連覇を達成した。10月24日に静岡県富士宮市の富士教育訓練センターで行われる第4回全国鉄筋技能大会(TETSU-1グランプリ、主催・全国鉄筋工業協会)に出場する。大会には組合に所属する7社から11選手が参加。2位は天内

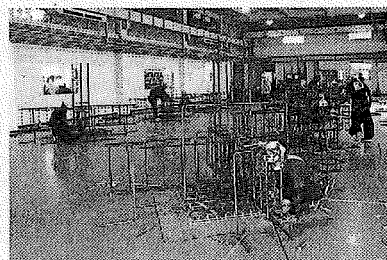
神奈川県鉄筋業協組 鉄筋技能大会開く

鋼業(横浜市旭区、天内一治社長)の助川英樹選手、3位は阿部鋼業(横浜市鶴見区、阿部政彦社長)の池田直樹選手だった。閉会式で阿部理事長は「力を発揮できなかった選手もいると思っが、今日の経験を明日から仕事に生かして、頑張っってほしい」とあいさつした。全国大会に向け、優勝した小林選手は「4回目の挑戦になるが、自分の課題であるスピードを意識し、日本一になれるように頑張りたい」と語った。



TETSU-1グランプリ予選 小林さん(サンワ工業)が4連覇

優勝した小林さん
(左)と阿部理事長



神奈川鉄筋

神奈川県鉄筋業協同組合（阿部政彦理事長）は2日、神奈川県茅ヶ崎市の神奈川県立産業技術短期大学校茅ヶ崎キャンパスで第4回全国鉄筋技能大会（TETSU-1 GRND PR IX）の神奈川予選会を開いた。11人の参加者が現場で培った日ごろの技を競い合った結果、サンワ工業の小林隆氏が優勝し、4連覇を果たした。優勝者は10月24日に静岡県富士宮市の富士教育訓練センターで開く全国大会に出場する。

今予選会の運営は実行委員会（委員長・天内一治副理事長）が担当。準優勝は助川英樹氏

11人が技を競い合った

（天内鋼業）、3位には池田直樹氏（阿部鋼業）が輝いた。阿部理事長は「競技時間は80分間だが、参加者は1日仕事したような疲労感があるだろう。きょうの結果を踏まえて、あす以降の仕事に生かしてほしい」とあいさつした。天内実行委員長は「精度とスピードが基本となる。きれいに見せることも大事だ。小林氏には練習して頑張してほしい」と期待を寄せた。

全国大会に進む小林氏は「4回目の出場となる。精度だけでなく、スピードも上げたい」と抱負を述べた。